

友よ!



東京・石中会だより

第14号

東京
石中会
15周年記念
特大号

発行 東京・石中会広報委員会 事務局 / 〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-56-7-906
相澤 貞正方 TEL & FAX/03-3412-9759 事務局メールアドレス t-sekichukai-tk@jcom.home.ne.jp
平成30年6月1日

平成30年度：発展期（初年度）を迎えて

—最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を目指して—

「石巻市震災復興基本計画（10年間）目標：平成32年度」

ごあいさつ



この度、東京石中会が設立15周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げますとともに、東日本大震災以降、貴会の皆々様から力強い御支援と御声援を頂いていることに心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から7年が経過いたしました。最大の被災地となった本市であります。おかげさまで防災集団移転事業による宅地造成はほぼ完了し、復興公営住宅も平成30年度中には整備が完了する運びとなり、被災された方々の暮らしが少しずつ平穏を取り戻しつつあります。しかし、復興の進展に伴う新たな課題も多く、復興はまだ道半ばにあると考えております。

昨年を振り返りますと、3月に新門脇地区「まちびらき」の開催、渡波中学校新校舎完成、4月には釜・渡波・雄勝保育所が開所し、6月には雄勝小・中学校新校舎完成、かわまち交流拠点の中核となる「いしのまき元気いちば」がオープン、7月から51日間にわたり「リボンアート・フェスティバル」が開催されました。また、県北部の拠点港として地域経済を支える石巻港が開港50周年を迎え、国内最大のクルーズ船「飛鳥II」が寄港するなど、福祉、教育、産業、観光の明るい話題が多い年となりました。

本年は、本市の復興基本計画に定める「発展期」に入ります。3月に完成した石巻市防災センターをはじめ石巻駅周辺に防災・保健・福祉・医療・介護等の拠点を集約整備するとともに、総合支所を中心とした地域の拠点づくりを推進し、公共交通指向型開発と次世代型地域包括ケアの展開による地域で支え合うコンパクトなまちづくりを目指してまいります。

また、本市には、震災を乗り越え、石巻圏内外に大きな雇用を生み出している優れた企業が多く立地しておりますので、そうした企業の先進的取組や販路拡大に向けた支援を継続してまいります。そして、農業・水産業の新たな担い手を育成するとともに、妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援を展開することで、定住人口の維持・増加につなげ、新たな魅力と活力ある石巻市の実現に全力で取り組んでまいりますので、今後とも、本市への御支援、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ではありますが、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

平成30年5月

石巻市長 亀山 紘

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の概要



石巻市では、国の地域再生計画の認定を受け、雇用創出や交流人口の拡大に資する取組として「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用して進めております。

〔雇用創出拡大プロジェクト〕

「奨学金返還支援事業」（総事業費96,000千円）

- ・地域包括ケアシステムの展開に必要な**医療及び福祉に係る人材確保と定住促進**を目的に、奨学金の返還額の一部（年額20万円最大3年間）を助成
- ・平成29年度より**対象者を拡大し、「保育士・助産師」も助成対象**
- ・保育環境の充実と待機児童の解消、妊娠・出産・育児の一貫した子育てしやすい環境づくりを推進



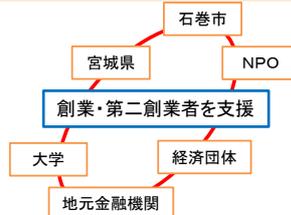
保育環境の充実



医療・介護分野の人材確保

「創業支援補助事業」（総事業費75,000千円）

- ・開業率向上による本市産業の活性化及び雇用の確保を目的に、創業・第二創業を行う事業者を支援
- ・**官民で構成する創業支援事業者連携会議**で、各支援団体が個々に行ってきた相談窓口、創業セミナー等の支援を効果的かつ効果的に実施
- ・起業支援やコミュニティづくりをコンセプトとしたワークスペースを提供する**コワーキングスペース**の設置



コワーキングスペースを活用したセミナー

〔交流人口拡大プロジェクト〕

「石巻市複合文化施設整備事業」（対象総事業費3,494,000千円）

- ・音楽やミュージカル、演劇等が行えるホール、市民ギャラリーなどの生涯学習機能や、石巻の歴史・文化の展示を行う博物館機能を備えた複合文化施設を整備し、**文化芸術の発信・創造・継承の拠点**として活用
- ・近隣市町と連携した様々な企画を戦略的に実現させ、リピーター獲得やイベント開催時の集客力を向上し、継続的な人の流れを呼び込み、**交流人口の拡大**を実現

【平成32年度オープン予定】



企業版ふるさと納税：「事業成果及び寄附の実績」



事業名	雇用創出拡大プロジェクト		交流人口拡大プロジェクト
	奨学金返還支援事業	創業支援事業	複合文化施設整備事業
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・交付対象者は、市内の病院、特別養護老人ホーム、保育所等に勤務し、医療・介護・福祉に係る人材が確保されるとともに、定住人口も一定程度増加 <p>H28実績：計19名に助成金交付内訳）看護師12名、理学療法士2名、介護福祉士2名、作業療法士1名、社会福祉士1名、精神保健福祉士1名 ※5名が県外、3名が市外から転入</p> <p>H29実績：計39名に助成金交付内訳）看護師15名、保育士10名、理学療法士6名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、介護福祉士1名 ※4名が県外、10名が市外から転入</p> <p>上記実績は、新規申請者のみ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・経営相談会の実施や窓口相談、創業開成塾を開設し、創業に向けたスタートアップ支援 ・その後の事業継続に向けたフォローアップも全面的に支援 <p>H28実績：計19件に補助金交付内訳）飲食・サービス業6件、情報通信業3件、卸売業3件、医療・福祉関係3件 小売業、水産業 他</p> <p>H29実績：計17件に補助金交付内訳）飲食・サービス業9件、建設業2件、製造業2件 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石巻の歴史を継承した旧市街地の復興を見守るシンボルとして、また、新しい街づくりに寄与する施設を目指し、基本設計（H28）、実施設計、博物館機能に係る展示実施設計（H29）を実施 <p>（今後の予定） H30 建設工事 H31 建設工事、展示工事</p> <p><施設規模・機能> 建築延床面積：13,280㎡ 大ホール：1,300席、小ホール：300席 市民ギャラリー・展示・収蔵庫</p>
平成28～29年度寄附実績（H30.3.20時点）	320万円（延べ7社）	380万円（延べ8社）	250万円（延べ6社）

急募

・本プロジェクトの実施期間は、平成28年度から平成31年度までの4年間となっており、プロジェクトに賛同いただける事業者様（本社が石巻市にない法人が対象）又は仲介していただける方を募集しています。

・御賛同いただける場合、下記まで御連絡ください。詳しい御案内をさせていただきます。

<連絡先> 石巻市復興政策部復興政策課 0225-95-1111（内4215）

心の復興事業①（石巻市）



●石巻市では、平成29年度から「心の復興事業」をはじめました。

東日本大震災に伴う避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化する中で、被災者が安定的な日常生活を営むことができるように、被災者の円滑な住宅・生活再建の支援、心身のケア、生きがいのづくりによる「心の復興」や、コミュニティ形成の促進等の各地域の復興の進展に伴う課題に対応した支援活動の実施に必要な施策を総合的に支援することを目的として、平成29年度から心の復興事業をはじめました。



●石巻市の「心の復興事業」とは？

石巻市では、以下のような取組により、被災者自身が参画し、活動する機会の創出を通じて、被災者が、他者とのつながりや、生きがいをもって前向きに生活することを支援するほか、コミュニティ形成と一体となった被災者の心身のケア等の取組の促進を図るものです。

<取組事例>

取組分野	取組概要
農業	避難先の応急仮設住宅の近隣の休耕地などで農作業を行い、収穫物で避難先の地域住民との交流会を実施
水産業	震災前に漁業に従事していた避難者の経験を活かし、子どもや市外からの観光客の船上漁業体験の機会を提供
まちづくり	まちづくりのイメージを作成するワークショップを実施
ものづくり	被災者による手作りグッズの製作等の実施
ものづくり	中高年男性による料理教室を開催し、複数の応急仮設住宅でグルメ大会を実施
世代間交流	家族ロボット教室を実施し、ものづくりの楽しさを体感するとともに、世代を超えた交流の機会を創出
震災の記憶の風化防止	震災の記憶を風化させないために、被災地内外からの幅広い世代の参画を得て、被災地の現状等について理解を得るための交流の機会を創出
地域活性化の取組	被災地の若者が中核となって、地域の将来を見据えた地域活性化イベントを企画実施

心の復興事業②（石巻市）



●平成29年度「心の復興事業」

平成29年7月に募集を行い、12事業が認可されました。各事業については、以下のとおりです。

No	事業名	事業者名
1	生きがいのづくりと地域で子供を見守るコミュニティ形成事業	特定非営利活動法人こどもむげん感ばにー
2	雄勝ローズガーデンを活動拠点に被災者主体の交流づくり継続事業	一般社団法人（非営利）雄勝花物語
3	手しごとコミュニティの形成および近隣住民との交流支援事業	特定非営利活動法人応援のしっぽ
4	被災した人たちと障がいのある人とのコラボアート「こころのカタチ」を発信	NPO石巻広域クリエイティブアートの会ペンギンズアート工房
5	「復興ボランティア」リユニオン～学生参加による支援活動	石巻専修大学人間学部田中秀典ゼミナール
6	大川地区「記憶の街」模型復元プロジェクト	一般社団法人長面浦海人
7	心の痛みに寄り添う支援事業	一般社団法人石巻グリーンサポート
8	復興の森づくり植樹祭	NPO法人こころの森、石巻南浜津波復興祈念公園参加型維持管理運営協会
9	地域住民の自主活動促進と地域コミュニティ活性化事業	NPO法人雄勝まちづくり協会
10	地域住民の心と体を元気にする「スマイル農園」プロジェクト	一般社団法人ワタマスマイル
11	いしのまき 震災と地域再生そして未来を語り広める事業	いしのまき 震災と地域再生・未来を語り広める会
12	石巻★多世代ソーシャルファームプロジェクト	NPO法人ヒューマンフェローシップ

なお、各事業の詳細につきましては、本市のホームページに紹介しておりますので、下記URLにてご覧ください。

平成29年度採択事業

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10181000/8600/h29saitaku.pdf>



東京石中会 「15周年」回顧と未来(1)

「東京石中会 15周年にあたり」

東京石中会 会長・加藤友成 (18回生)



東京石中会設立から15年が経ちました。お陰様で継続して活動をしてこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。まずは会員の皆様に心より御礼申し上げます。そして設立当時に大変なご苦労をされて東京石中会を立ち上げてこられた諸先輩の方々の努力なくして今はありません。すでにお亡くなりになりましたが役員としてご尽力されてきた秋月英美先輩、井上勝夫先輩、阿部剛夫先輩、鈴木健司先輩、そして若くして亡くなられた小野寺康之君に哀悼と感謝の意を表したいと思います。

千年に一度とも言われる東日本大震災は私たちに大きな衝撃をもたらしました。皆さんの身の回りでも多くの方が被災されたことと思います。東京石中会としても会員の皆様のご賛同をいただき募金活動を実施し、母校・石巻中学校のご厚意で石巻市に支援金としてお渡しいたしました。以来様々な形で応援活動もしてきております。震災から七年が経ち、石巻の復旧・復興活動は着実に一步一步進んできておりますが、一方では地域差も見られ心の痛みも残る今の状況かと思われまいます。その中で私たちの「いしのまき」への想いは変わりなく一層深くなったのではないのでしょうか。また「在京同窓会」を初めとして「石巻関連の皆様」とも想いを共有し交流も一段と活発になってまいりました。

東京石中会は「教育講演会」、「東京石中会の集い」、「広報誌の発行」、そして「石巻の応援」、等と活発な活動を心がけて少しずつ充実してまいりました。東京石中会はこれからも「会員の親睦」、「石巻中学校への応援」、そして「故郷いしのまきの明るい未来」に向けて活発に活動してまいりたいと考えております。皆様のご意見・ご指導を賜れば幸いに存じます。そして引き続きご協力・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

平成30年6月吉日

15周年回顧録

首藤光春 (8回生)

「十五夜の満月ながめ15年」一句読みつつ脳裏をよぎった。早15年、否まだ15年。どちらが実感なのだろう。

誕生から揺籃を経て幼年を迎え青春時代から成年期へと育成への歳月を重ねていく人生同様に「東京石中会」という同窓有志会が互いに友愛精神を大切に育成し合ってきた。

①会員互いの親睦交流、②母校石中、故郷石巻への貢献(恩返し)を二大柱としてきた。

アットホームで和気藹々のムードを醸し出す集いパーティ(総会)は年1度の一日千秋の楽しみな集まりでもあった。懐かしみ、励ましあい、自助互助の精神的支柱(One For All スピリッツ)を温めていくことこそ同会の維持継続の忘れてはならない極意といえよう。

そういった観点から、早15年、否、まだ成長を続ける余地がある。まだ15年と未来を見つめる万感胸に誓う15年としたい。

最後に駄作を一句“賢者は石中会員、愚者は脊柱管狭窄症で15年”



2002.10.5 東京石中会懇親会 於・LA STELLA

東京石中会 設立総会の集合写真



第10回 東京・石中会集い 集合写真

東京石中会 「15周年」回顧と未来 (2)

東京石中会 15周年おめでとうございます



群鷗会 会長 浅野 亨 (10回生)

東京石中会 15周年おめでとうございます。

そして、この会を支えて下さっている皆様、大変ご苦労様です。

3.11の大災害から8年目を迎え、復興のスケジュールは物理的な理由で10年プランの中では2～3年遅れてしまう事業もありますが、ほぼ順調に進み70%ぐらいの達成率になっています。しかし「復興」と「新しい石巻づくり」とは、その切り口が別ではないかと思っています。人口減少が急速に進む中で、

石巻らしさをどう創造し魅力ある地域社会にするかは、今ここでちょっと立ち止まり、意識ある市民の総意を結集する必要がありますのです。

石巻の顔は北上川です。この価値ある「私たちの北上川」を中心に、他の都市には無い石巻を創造するのがこれからの最重要課題なのだと考え、実行していきたいと思っています。その為に機会あるたびに志を同じくする人に言っているのはこの一言です。

「スタンドで見えていないで、グラウンドに降りて一緒に汗を流しましょう」

これからも、新しい石巻創成に努力していきますので、ご指導と力強い応援を宜しくお願い申し上げます。そして、東京石中会の皆様のご活躍と会の発展を心から期待しております。

平成 30年 6月

東京石中会の歩み (ダイジェスト版)

東京石中会総会		広報誌 (主な内容)	教育講演会 (石中への派遣)	主な役員
開催場所・日時	内容			
第1回集い (平成16年) ニュートーキョー 11月13日(土)	34名参加 ビンゴゲーム大会	創刊号 (平成17年7月) モノクロ4P 母校石中を訪ねて	橋本 照嵩 (8回生) ～カメラマンは語る～	会長: 秋月英美 (3回生) 事務局長: 阿部剛夫 (4回生)
第5回集い (平成20年) ニュートーキョー 10月15日(土)	54名参加 若手会員増加	第5号 (平成21年6月) モノクロ4P シリーズ故郷行脚2	首藤光春 (8回生) ～北京オリンピックを語る～	会長: 秋月英美 (3回生) 事務局長: 飯田勝紀 (9回生)
第10回集い (平成25年) 第一ホテル兩國 6月16日(日)	76名参加 鈴鹿景子 (24回生) 渡邊公威 (42回生) 三浦南 (57回生) 三浦梓 (59回生)	第10号 (平成26年6月) カラー16P 震災から3年 わが町商店街	尾口英昭 (25回生) ～ミスターパイロット～	会長: 飯田勝紀 (9回生) 事務局長: 加藤友成 (18回生)

石巻の未来へ向かって!

優しさと豊かさの創造

宮城ヤンマー株式会社

代表取締役社長 浅野 亨

<本社・工場> 宮城県石巻市松並一丁目14番5号

TEL (0225)93-2121(代)

<拠 点> 仙台支店・盛岡営業所・気仙沼営業所・不動町工場

《取扱商品》

- ディーゼルエンジン
- 常用・非常用発電装置
- 海水清浄装置
- コージェネレーションシステム
- FRP船
- ヤンマー純正部品
- 土木資材等の販売 及び 修理・メンテナンス

URL: <http://www.miyagiyanmar.co.jp>

東京石中会 「15周年」回顧と未来(3)

花のOGメッセージ

私の原点日和山

早川幸子(旧姓 横山) 5回生

今日、3月11日は、恐ろしい津波がたくさんの人々、また大切な暮らしを奪ってから7年。日和山から海に向かって祈りを捧げる大勢の人達がテレビに映し出されています。

亡くなられた皆様の御冥福をお祈りいたします。日和山から見える景色は子供の頃に見た景色はすっかり変わってしまいました。

私達家族は、昭和22年から28年に上京するまで日和山のつつじ園の近くに住んでおりました。そして私は石巻小学校、石巻中学校と多感な少女時代を日和山と共に過ごしました。

春はお花見の賑わい、鹿島さんのお祭り、夏になると山を駆け下り、ひばり野の海で泳ぎ自然とともに過ごしておりました。戦後の乏しい時代に私を育ててくれた日和山は私の人生の原点です。ありがとうございます日和山

いち早い義援金の届け

鈴木恵美子(旧姓 小野) 5回生

東京石中会 2018.3.17(今年3回目の役員会)で、この集いが15年目を迎えるので何か記念に残る「特別イベント」と言うことでOGのメッセージを依頼され、もう15年目を迎えることふり返り、私にはとてもとても長い年月に思いました。色々な思い出がたくさんありますが、やはりH23.3.11の東日本大震災のことです。誰もが言葉には表せない悲惨な心から離れることのない惨事の数々、姉妹のこと、親戚の安否、10日間の停電で一切知ることができず、携帯にやっと、それぞれの肉声を聞き元気だったことに涙しました。他の人達もそうであってと祈ったものです。

役員会の議題も大被害をまず一日も早く救うことに専念し、“義援金”を集めることで関東に在籍の名簿の同窓生に通信でお願いする作業をし、当時会長の飯田勝紀(9回生)さん宛にお願いしたところ直ちに200万くらい集まって、飯田さんは一日も早く石巻へ届けたい思いで交通機関もまだまだ整備されていないなか息子さんの運転で石中の校長先生に直接届けたのです。

「我々は被害が少ないので市長さんに届けるように」とのことと感謝の言葉を頂きながら届けたという経緯を役員会で話されたことに感動しました。

飯田さんのふるさとへの思い、息子さんの協力でまだまだ両脇のガレキをくぐり抜け届けてくれたこと、校長先生の思いといい、市長さんの飯田さんに対しての固い感謝の握手などなどふるさとを一心に思う気持ちが同われ非常に感動し胸打たれました。石巻出身一人一人が遠く離れても石巻ふるさとを熱く思う気持ちと役員一同の気持ちがうれしく思いました。

また最近若い私の息子と娘の年頃の後輩役員が増え、とても心強く思っております。新鮮な発言、積極的に自ら実行、責任感が強く何事も実現が伴いこの会の発展が確約でき、当会を設立した大先輩に発展を喜んで頂けるよう頑張りましょう。

私は皆さんの肉体的にも精神的にも介護の施される年令になりましたので、よろしくお願い致します。

ハウスキーパー体験から

細川金子(旧姓 川合) 6回生

小論を書く前に東京石中会を設立して下さった阿部剛夫さん及び携わって下さった皆様に最敬礼をしましょう。長い事ご苦労様でした。

昭和27年に私は山口三郎先生が初めて教師になられた時の生徒です。中学2年の時の担任でした。びりっけつの私によくアドバイスを下さいました。英語の先生でしたので発音を耳にしたのならドリスデイの歌を聞くと良いと教えて下さいました。貧乏だったのでレコードなんか買えませんでしたので大人になってから買いました。

荷船会社であるマースクラインに入社しました。朝の7時には家を出なくてははいけませんでした。ハウスキーパーをしている男の人が社長と私を乗せて毎日日比谷公園のオフィスまで行きました。

朝は5時起きで毎日自分の弁当は黒パンライブレッドオープンサンドと決まっておりました。私はごはんの国の人間なので食べないことが多かったものです。

それでも食べないと頭が働きませんし体はフラフラでも頑張りました。戦後みんなこんな思いをして頑張ったものでした。この頃赤ん坊であったアランは今じゃ55~56歳でオヤジの後を継いで社長になっているはず。

私をつかんで片時もはなさなかったアラン。今じゃ子供の2~3人はいるであろうと思うと私は二つの国の親ってことだ。

東京石中会 「15周年」回顧と未来(4)

会社の連中は夏は日本が暑いので「帰るのは嫌だって」ぼやいてました。私は日本人は工夫をして生きるとても素敵な国だと思いました。

しかし、デンマークに行ったらゴミを燃やしてその熱風をスチームで送って冬は暖房にしているのには、びっくりしました。それに社会福祉の進んだ国で学校や病院、老後の心配がない国でした。ただし税金はしこたま取られるそうです。

私はどうしてデンマークに行ったのかと申しますとミスターヤコブセンとミセスヤコブセンの家庭にメイドとベビーシッターと会社の受付として入りこんだ私は、ご夫婦にピッタリとついて行かねばなりません。そうしているうちに彼らのおじさんである社長が亡くなったので会社を継ぐことになり本国へ一時帰国しなければなりません。ベビーシッターである私も一緒に行きました。いつもアランは私にベッタリだったので離れると「ギャーギャー」とうるさくて仕事になりませんでした。

石巻にも素晴らしい人格者が育ってらっしゃって鼻高です。若者よどんどん外国へ出て腕に磨きをかけ、石巻を憧れの街にしてください。今にきっと盛えると信じております。



写真展と義援金の継続

川島あつ子（旧姓 三宅）8回生

今、思い出を考えますと、東日本大震災の事が頭の全て占めてしまいます。7年前、1週間全く連絡がとれず、2ヶ月後、5月連休に仙台まで新幹線が通じた時、一人飛び乗り乗り継ぎ乗り継ぎ、石巻では泊まる所もなく、時間のある限り歩き回った時、石巻は想像を絶するもので忘れる事が出来ません。

4年後、その時写した写真で、石巻を忘れないで欲しいとの思いで、銀座で写真展を開催しましたが、東京石中会の方々には大変お世話になり故郷を離れて人生を過ごして来ても、切っても切れない絆がある事を知りました。

震災後、微力ではありますが、展示会の売上金から応援を続けながら、故郷石巻の繁栄と東京石中会の繁栄を願いつけております。



気配りと好奇心

早田 光（旧姓 右嶋）9回生

数年前、初めて石中会に出席しました。その途端、ほっとすると共に、ふるさとのなつかしさがこみ上げてきました。

事前に、前会長の飯田さんから「お隣りにどなたかご希望ですか？」とのおたずねがあり、あつかましくも「鈴木健司さんを・・・」とリクエスト。すると当日、私のお隣には本当に鈴木健司さんが！驚きとともに飯田さんのお心配りに感激しました。

同じテーブルの皆さんとも話がはずみ、一年先輩の女性（川島あつ子さん）とは、いまでは長電話を交わす仲。彼女が主催する「織り」の展覧会にもお邪魔し、その活躍ぶりをうれしく拝見しました。がんばって！

石中会のおかげで、ご縁の不思議さとありがたさを、つくづく噛みしめるこの頃。私も歳を重ねましたが、これからも“好奇心”を忘れずにいたいと思います。



ああ石巻！！

坂口いく子（旧姓 高橋）16回生

帰省する度の必定のコースは日和山に登り、北上川から長浜・雲雀野浜を眺め、次に中瀬、内海橋を渡るのが楽しみです。仙石線で石巻駅近くにくるとすぐに魚のにおいがすると一安心しておりました。石中への通学に「心臓破りの坂」を駆け上がり、かろうじて遅刻をまぬがれた3年間の鍛錬。そのおかげで丈夫な身体を授かり元気に過ごしてきました。

あの天津波と大地震で、川端の街や海辺の町の変わりようを見て悲しくなったこと、石巻が広がってびっくりしたことなど、さまざまな思いが交錯しております。しかし新しい街造りに携わる友達のキラリとした表情に、より良く住みやすいふるさとへの変身をと願っています。



自分で決めた大切さ

綱島 祐子（旧姓 阿部）31回生

東京石中会が発足し15周年という節目に役員として関わらせて頂き、大変嬉しく思っております。幾つになっても母校は懐かしく愛着を感じるものです。

特に中学校は人生最大の学びの場であると思われま。私は常々自分で決めることの大切さを意識していますが、それも中学校時代に芽生えたもので素晴らしい歴史と伝統を持つ石中で学べたことは誇りです。

この東京石中会も皆様から慕われ長く継続される事を心から祈っております。

石巻中学校 平成29年度 第14回 教育講演会開催される！

基調講演テーマ「海事弁護士としての活動」

講演者：相澤貞止（18回生）

2017年（平成29年）度の教育講演会は、12月11日（月曜日）に石巻中学校において開催され、私が基調講演をさせていただきました。

54～5年振りの母校訪問でしたが、校舎・生徒数等全てが変わっていました。講演を依頼された時には何をテーマにすべきか一瞬迷いましたが、結局は私の仕事であり、しかも港町である石巻の人々でも余りなじみがないと思われる海事弁護士の仕事を紹介してみることにしました。

「海事弁護士としての活動」という題とし、最初に弁護士の資格取得の方法・人数・使命等を紹介の後、本論では海事弁護士の活動の具体的内容（衝突事件・運送貨物についての船舶への損害賠償請求事件等）を紹介し、更には、仕事をする上で英語及び外国の弁護士との交流等が不可欠であり、異文化に触れる機会が多く刺激的であるということをお話しました。

加えて、海事弁護士を含め弁護士の仕事は、自己責任で厳しい反面、精神的に自由でもあるという魅力があるので将来の進路の選択肢の一つとして考えてみてはどうでしょうか、と締め括りました。生徒の皆さんがどこまで講演の意図を理解してくれたか大変不安でしたが、送って頂いた感想文からは生徒の皆さんに講演から何かしら感じて頂けたことが分かり、安心しました。

私の講演は、午後3時頃までの1時間で終了しました。その後、石巻で様々なご活動をしている卒業生の皆さん10名が、各自それぞれの分科会において独自のテーマの下でお話しをされ、参加された生徒の皆さんと熱心な交流の時間を持ちました。

第2部 分科会

分科会	講師名	演題（仮）
1	松村 豪太 一般社団法人いしのまき20代表理事	「地域をひろく」
2	佐藤 禎久 双葉町郵便局長（同窓会副会長）	「楽しく充実した日々を」
3	遠藤 一恵 NPO法人パソコンマネット代表	「NPOの活動について」
4	熊倉 一徳 東北プランニング(株)代表取締役	「広告とデザインの仕事」
5	伊藤 千晶 社会保険労務士 いとう事務所	「職場のルールと働くマナー」
6	武山 雄樹 (株)グローバルダイニング代表取締役	「将来への不安を払拭するために」
7	星 雅俊 元石巻市職員（復興部長）	「震災を経験して」
8	伊藤 鉄義 B-Bスポーツ（日本たばこ産業石巻支店長）	「夢をかなえるために」
9	新沼 利英 (株)新沼金物店 代表取締役	「ベンチャー企業を伸ばすためには （企業経営の楽しさについて）」
10	大津 幸一 石巻専修大学教授（同窓会副会長）	「英語を生かして海外に旅しよう」



講師の皆様お疲れ様でした！！



講演する相澤弁護士



いろんな質問が飛び交いました

石巻中学校コーナー

東京石中会 15周年に寄せて

石巻中学校 第27代校長 志小田 美弘



東京石中会の皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、この度は、東京石中会が創設15周年を迎えられたとのこと、重ねてお祝いを申し上げます。昨年度の本誌「友よ」には、伝統という名の潜在の教育課程の力を石中生の姿に感じ取れるというような内容の挨拶文を掲載させていただきました。様々な場面で石中会の方々からいただくご支援や励ましが本校の伝統を支え、そして生徒を育む大きな力になっていると改めて感じております。感謝を申し上げます。

平成30年度は、第72回入学生となる102名の新生を迎え、全校生徒299名でスタートいたしました。石中の教職員は「学校は生徒たちが自分の良さを確かめに来るところである」という教育理念を教師心得として共有しようと話し合っております。「自主・自律・品位」の生徒心得をもつ生徒たちと力と心を合わせながら、「あたりまえのことを素晴らしいでやろう！」というスローガンの下、今年度の教育活動を推進していこうと張り切っているところです。

「洪庵の松明（たいまつ）」という司馬遼太郎氏の作品があります。一つの松明であっても、無尽のつながりによって絶えることなく続くという「燈々無尽の教え」を説くものですが、多くの先輩たちから受け継いだ良き教え、あるべき姿を受け継ぎながら、そこに自分たちの良さを加え、広げていくことで新たな石中の伝統づくりとする一年にしたいと思っております。

1 工夫と充実が見られた学校行事

① 大運動会（9/3）

スローガン「天下夢創～三色の火花を撒き散らせ～」

今年も、全競技熱く！大運動会が開催され、赤・黄・青（3色）の3つの縦割りクラス対抗でプログラムが繰り広げられました。



絶対に負けられません！

・群鷗祭（10/21）テーマ「驚愕～THE・世界の仰天祭～」

群鷗祭ステージの前半、合唱コンクールは、学年・クラスごとに歌声を競いました。



後半のステージ発表は、工夫を凝らした学年のステージ発表や、多彩な映像を駆使した実行委員会企画、そして吹奏楽部演奏、またPTA合唱の参加もあり、これまでにないくらい多彩で華やかな発表になりました。



みんなで息をあわせて！

2 地域の行事への積極的参加

毎年恒例の「石巻川開き祭り」（8/1）に、吹奏楽部と3学年の『石中SAITARA』が参加しました。そろいの法被と鉢巻きでかっこよく決めた3年生が大活躍しました。



特訓の成果を見てください！！

また、祭りの次の日の朝には、石巻市商工会議所青年部の協力を得ながら全校生徒で「清掃ボランティア活動」を行いました。



朝早くから頑張りました

「第14回 東京・石中会の集い」を終えて

～平成29年7月8日(土) in 銀座Sun-mi7丁目店(高松)～

構成・文 浅野 剛 (36回生)

今回の「東京石中の集い」は来賓を含め70名の同窓生が集まりました。

石巻中学校同窓会からは大津幸一群鴉会副会長、石巻中学校からは板橋裕二教頭がご出席されました。

懇親会では映画「まだ見ぬまちへ」の青池憲司監督と石巻学プロジェクトの大島幹雄代表から石巻に対する想いをお話していただきました。恒例のミニコンサートではオペラ歌手の渡邊公威さん(42回生)・黒木直子さん夫妻すばらしい演奏と迫力ある歌声に出席者全員が魅了されておりました。

今年7月14日(土)に「東京石中会の集い」が開催されます。

皆様奮ってご参加ください。



群鴉会 大津副会長



石巻中学校 板橋教頭



東京石中会 加藤会長



久しぶりの再会で盛り上がっています



映画「まだ見ぬまちへ」青池監督



石巻学プロジェクト 大島代表



渡邊公威さん



群鴉会 木村事務局長

石巻の未来へ向かって！

東京石中会・会員募集！
申込みは下記アドレスへ
<http://tokyosekichukai.com/sekichuukaiboshuu/>

地域の未来と環境を考える
若生工業株式会社
—ISO9001・14001認証登録—
—OHSAS18001認証登録—
〒986-0871 石巻市清水町2丁目3番3号
TEL 0225-94-1111(代) FAX 0225-22-3992
<http://www.wakoinc.co.jp>

都市ガス(天然ガス)・プロパンガス
石巻ガス株式会社
石巻市中央2-7-38
電話0225(96)3007

かながわの地酒専門店
小料理 ほおづき
横浜市中央区住吉町5-63 TEL045-633-2627

ア・ラ・カ・ル・ト（1）

首都圏・石巻ゆかりのお店紹介

宮城と東北の酒・肴 酒バーひより / 弁当 ひよりや（世田谷区奥沢）

宮城県石巻市出身の今宮隆司と申します。店名の由来は「日和山公園」からいただきました。

青森出身のパートナーと営んでおり、宮城と青森を中心とした東北の純米酒とお料理をお出しし、また、昼は「弁当 ひよりや」として近隣の学校やイベント会場など、都内近郊にお弁当を製造し、配達を行っております。夜の居酒屋では、石巻十三浜産のわかめや青森県七戸町の農家からねばり芋やにんにくを直送してもらい、様々な調理法でご提供しております。他にも、最近テレビ等で話題のぎばさ（アカモク）や石巻産アンチョビを使ったお料理、定義山の三角揚げなど、宮城を感じていただけるメニューをご用意しております。そして、カウンターには日替わりでお作りしているお惣菜を並べている家庭的な雰囲気のお店です。

お酒も東北の純米酒にこだわり、定番ものから珍しい銘柄まで常時20種類以上取り揃えております。店内や店先も宮城・東北を感じていただけるようなほっこりした雰囲気作りを心掛けています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りくださいませ。



店舗外観



カウンターのお惣菜

【店舗情報】

宮城と東北の酒・肴 ひより 〒158-0083 世田谷区奥沢 2-6-9 TEL.03-5726-8123

OB・OGの紹介

世界で一本だけの手織マフラー

鈴木貴美恵（36回生）

みなさん こんにちは

私は「手織り巻きもの作家」の鈴木貴美恵です。

石巻の高校を卒業して東京の短大で織物を専攻し、卒業後も手織の世界に魅了されて、仕事の傍らで工房に通い染織を学びました。

現在は横浜の大倉山で手織り教室を主宰しています。

より多くの人に織物の楽しさを知って貰いたくて、東京や石巻でコースターやマフラー作りのワークショップを不定期で開催したり、20年以上前から個展を開いて手織りマフラーの展示&販売を続けています。

世界で1本だけのオリジナルマフラーを織っているので、オーダーして下さる方も多く、喜んで頂いております。

これからも作品づくりに取り組んで行きますので、どこかで私の作品に触れる機会がありましたら、どうぞよろしくお願い致します。



実家は仲町にあった鈴徳商店です

連絡先 080-6554-4325 メールアドレス fleecykm25@gmail.com

ア・ラ・カ・ル・ト（2）

いしのまき元気いちばオープン！！

株式会社元気いしのまき
代表取締役副社長 松本俊彦

東日本大震災からの復興を目指し、石巻市は中心市街地の活性化と観光客の受け入れを目的に「川まち交流拠点整備事業」を策定しました。

その概要は石巻の特徴でもある、北上川・中瀬地区の堤防を整備しながら、商業施設を建設し、駐車場、バスターミナル、公共施設、広場を整備し、中心市街地に人を呼び込む構想です。その構想に賛同し、水産食品加工関連企業16社、地元老舗料理店4店、その他地元企業8社、そして石巻市が出資し「株元気いしのまき」を設立し、昨年6月末に「いしのまき元気いちば」をオープンいたしました。



石巻かわまち拠点整備事業パース

この施設は、観光客はもちろんのこと、地元の方々にもいしのまきのすばらしさを再発見してもらうべく、「石巻」にこだわった施設となっています。1階には、地元のとれたての旬な野菜はもちろん、魚屋さんが2店舗入っており、地元の市場であがった魚にこだわり販売をしています。食品も石巻で製造されている商品を中心とし、地元色豊かなお店作りを目指しています。また、2階は140席のフードコートとなっており、地元の魚や食材を使用した、海鮮丼、刺身定食をはじめ、魚のアラのスープを使用した「あら〜麺」や「ユニパスタ」など石巻ならではのメニューが並んでいます。またフードコートからは、北上川、石ノ森萬画館を眺めながら食事を楽しむことができます。

今後はさらにエリアの整備が進み、防波堤と元気いちばの2階が連結され、さらに雰囲気のあるエリアになっていくと思っております。また、1階で販売されている商品は、ここを石巻商品の展示場ととらえて、首都圏や海外へも積極的にPRしていく事業も合わせて行っていくつもりです。是非、石巻に帰石の際はお立ち寄りいただき、お楽しみいただきますようお願い申し上げます。



石巻の未来へ向かって！

電話 0225(95)0352 東北プランニング株式会社 広告代理 製作 IT関連	大正二年創業 鰻 割烹 八幡家 松川横丁 電話 0225(22)0138	電話 0225(93)5111 株式会社 齋武商店 鉄スクラップ古紙リサイクル	電話 0225(95)5231 株式会社 石巻日日新聞社 愛する地域を未来の笑顔につなげます	電話 0225(22)6258 株式会社 小松塗料店 震災後南中里に移転しています	電話 0225(96)3658 サルコヤ 玩具や楽器のことなら ことぶき町通り	東京都港区新橋4-18-4 1F イルマツジヨ 赤い扉のカジュアルBAR (土・日・祭日休) 電話 03(6809)2823
--	--	--	---	--	---	---

旬が買える、味わえる！
石巻のうまいものが一堂に！



いしのまき元気いちば

石巻の旬がいっぱい！

パンコーナー『feel』



イズニーというフランスの発酵バターを使った本格的なクロワッサンや、ドイツのパン種を使った酸味のあるロデブなど、食事にあつこだわりのパンをその場で焼き上げます。フライした鱈などをはさんだ、オール石巻産食材の“石巻バーガー”も人気。

開放的な吹き抜け、木をふんだんに使った和モダンな空間で、ゆったりと買い物をお楽しみください。



震災復興応援地域特産品販売コーナー



震災時に復興支援をしてくださった他地域とのご縁を大切に、随時月替わりでコーナーを開設中！

水産加工品、物産品販売コーナー



石巻生まれの個性豊かな商品がズラリ。地元の人にも知らない隠れた名品を発見できます。石巻の食材を詰め合わせたおトクなセットも随時展開予定。石巻スイーツや石巻で焙煎されたコーヒー、石ノ森美術館グッズ、ご当地ゆるキャラも見逃しません。

農産品販売コーナー



農家から毎日採れたての野菜が届くので、四季折々に地場の新鮮な野菜や果物を手に入れることができます。味噌や醤油、調味料、乾物コーナーも、石巻メイドの商品をメインに取り揃えています。

鮮魚販売コーナー



世界三大漁場を有する石巻で水揚げされたばかり、まさに今が旬の魚介類が所せましと並びます。季節により専属のダイバーが潜って獲ったうにやアワビも販売。寿司や刺身もおすすです。新鮮なネタが買しやすい価格なもの、地元ならではの魅力。

2F
フードコート

元気食堂
GENKI SHOKUDO

世界三大漁場、金華山沖を有した食材の宝庫「石巻」。鮮度にこだわり抜いた海の幸は、季節や漁によって変わるため見るものを飽きさせません。石巻の全てが詰まった食のエンターテインメント空間「元気食堂」で心ゆくまで石巻に触れ、感じ、ご堪能ください。

約140席

元気井

穴子天丼

金華山井

あら〜麺

おすすめメニュー PICK UP

営業時間 1F 物販コーナー AM 9:00~PM 7:00
2F フードコート AM 11:00~PM 8:00

定休日 第3火曜日 ※年末年始、お盆、連休等はHPをご確認ください。

〒986-0822 宮城県石巻市中央2-11-11 TEL.0225-98-5539



最新情報は
こちらを
CHECK!



ア・ラ・カ・ル・ト (3)

「まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～」が完成！
～順次上映会を開催！～

構成・文 岡崎一也 (31 回生)

前回の会報誌でご案内していた青池憲司監督の石巻映画第3 作目が完成しました。映画のタイトルは「まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～」町内会の方々対象の「お披露目上映会」、応援いただいたの方々対象の「特別上映会」を経て2018年2月からは「一般上映会」が始まりました。

故郷へ思いを寄せる人や、町の再生に取り組む方々の関心呼び、その様子は各マスメディアにも取り上げられていました。

今後も各地で上映会が開催される予定ですので、機会がありましたら、ぜひ鑑賞ください。

【タイトル】

「まだ見ぬまちへ～石巻・小さなコミュニティの物語～」

【映画内容】

震災前のこの地域にはどんな暮らしがあったのか。住民が語る「わがまち」の記憶。地震と津波で壊滅的な被害を受けた、石巻市門脇・南浜・雲雀野地区の「人とコミュニティの再生」を6年半にわたって撮影した長篇ドキュメンタリー映画。「本編は災害からの復興の様子を、その土地の永くからの住人たちの視点をもってゆるやかに、じっくりと記録している。」

(キネマ旬報4月上旬号・渡部実)

「定点観測で、同じところばかりじゃないかという声も聞こえてきそうですが、時間を経るにつれて、人々の表情、声が変わっていく。その辺を見ていただければ」と青池監督(東京中日スポーツ・本庄雅之)



東京中日スポーツ提供

石巻日日新聞提供

石巻の未来へ向かって！

<p>電話 0225(22) 2971</p> <p>市役所通り</p> <p>栗野蒲鉾店</p> <p>水産庁長官賞に輝く名品</p>	<p>電話 0225(22) 1030</p> <p>恵み野一三十八</p> <p>井上海産物店</p> <p>海産物のお土産なら</p>	<p>電話 0225(22) 1842</p> <p>アイトピア(大町)通り</p> <p>そば処もりや</p> <p>老舗の美味しいおそば</p>	<p>電話 0225(22) 0727</p> <p>アイトピア(大町)通り</p> <p>株式会社 京屋</p> <p>きものと帯</p>	<p>電話 0225(22) 1258</p> <p>グラントホテル並び</p> <p>寶来寿司</p> <p>味が宝、のれんも宝の老舗</p>	<p>美味しい！を笑顔でお届けします。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 野菜のサブウェイ * お肉のペッパーランチ * クレープのディッパードン * ホテルレストラン事業 <p>株式会社ゼンインターナショナル</p> <p>石巻市西山町3-1 電話 0225-94-6792</p> <p>代表取締役 木村美保子</p>
---	--	--	---	---	---

ア・ラ・カ・ル・ト（４）

2017年「石巻地方の10大ニュース」 ～石巻日日新聞より～

構成・文 岩崎久仁夫（18回生）

毎年恒例、石巻日々新聞社が読者投票により年末にまとめている「あなたが選ぶ石巻地方の10大ニュース」の投票結果は表のとおりでした。このうちいくつか紹介します。

◎1位：「北ミサイル発射に戦々恐々」

8月29日と9月15日、北朝鮮から太平洋側に弾道ミサイルが発射され、石巻地方で全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴り響くなど緊張が走った。これを受けて、東松島市では住民避難訓練が実施され、参加者が屋内外でミサイル飛来時の対応を学んだ。

①北ミサイル発射に戦々恐々	73%
②リボンアート・フェスティバルに26万人	70%
③コバルトーレ女川がJFLに昇格	70%
④いしのまき元気いぢほがオープン	65%
⑤航空路が完全復活	63%
⑥サンマの不漁続く	63%
⑦超大型台風21号 猛威を振るう	59%
⑧石巻・東松島で市長選	53%
⑨石巻からプロ野球選手誕生	52%
⑩渡波中、宮野森小、雄勝小・中に待望の新校舎	50%



◎2位：「リボンアート・フェスティバルに26万人」

現代アート作品や音楽、地元食材などを通して石巻市の魅力を発信する「リボンアート・フェスティバル」が市内中心部や牡鹿半島を会場に7月に開幕。9月までの51日間で延べ26万人（主催者発表）の来場者があった。

◎2位：「コバルトーレ女川がJFLに昇格」

11月の全国地域サッカーチャンピオンズリーグで、東北代表のコバルトーレ女川が初優勝。クラブが創設12年目にしてアマチュア最高峰のJFL（日本フットボールリーグ）昇格を果たし、Jリーグ入りの夢がぐっと近づいた。

「カンタータ 大いなる故郷石巻」に感動！！

—和光3・11を忘れないチャリティコンサートで全楽章を演奏披露—

構成・文 岩崎久仁夫（18回生）

東日本大震災からちょうど7年目の3月11日、埼玉県和光市で「和光3・11を忘れない」チャリティコンサートが開催されました。

まず第1部、和光市初め近隣から集まった合唱団も参加した合唱及び朗読は、心に響くすばらしい内容でした。そして、震災が発生した14時46分に黙祷した後の第2部、初めの合唱「石巻・わがふる里」で郷愁の念にかられ、その後



にメインの「カンタータ 大いなる故郷石巻」が披露されました。

石巻でも10年に一度くらいしか演奏機会が無く、石巻以外で全曲演奏されるのは初めてというこの一大叙情曲は、4つの楽章から成り、第1が蝦夷の「日高見」の国が舞台、第2は鑄銭場に象徴される「たたら火」、第3は異国の世界に出帆した支倉常長がテーマの「雄図」、そして第4に齋太郎節など石巻を讃える「祝祭」と石巻の偉大な歴史と人、雄大な自然を表す壮大なストーリーとなっています。

演奏は、ソプラノ独唱（石中59回生の三浦梓さんが担当しました）、バリトン独唱、はるばる石巻から訪れた市民交響楽団、合唱連盟、そして和光市を中心とした首都圏の皆さんを含めたスペシャルオーケストラ、スペシャル合唱団等によって構成され、見事成功裏に満場の拍手のうちに終了しました。

このコンサートを開催してくれた関係者に感謝すると共に、もう一度聴いて見たい、他の皆さんにも是非聴いてほしいという気持ちが沸いて来ました。



石巻日日新聞提供

卒業者からの便り

(「第14回集い」の出欠ハガキより)

第3回生 阿部剛

3回生 参加人数年々減少していますが、今年もできるだけ参加を呼び掛けています。

第3回生 武山勝

歳相応にそれなりに元気に過しています。

第3回生 青沼義信

盛会を祈ります。

第3回生 坂本武久

体調がもうひとつで、残念ながら出席出来そうにありません。盛会を祈念します。

第5回生 佐藤仁子(旧姓:小林)

日頃は大変お世話になり本当に有難うございます。不幸が重なり留守にしておりました。外出はできませんので大変申し訳ありませんが欠席致します。6月20日に帰って来ましたので。

第6回生 増 健寿

療養中で外出を控えておりますので今回も欠席させていただきます。

第6回生 細川金子(旧姓:川合)

昨年は主人に先立たれ欠席いたしました。今年度は皆さんにお会いしたく出席したく思いますので宜しくお願い致します。

第6回生 横田文子(旧姓:高橋)

移転いたしましたので連絡させていただきます。

第7回生 橋本洋二

御盛況お祈り申し上げます。

第7回生 伊藤恵子(旧姓:遠藤)

アルカルト(3)最寄駅が示されるといいですね。線等

第8回生 樽見和子(旧姓:細川)

皆様のご活躍とご自愛を心からお祈り申し上げます。ご案内ありがとうございました。

第8回生 川島あつ子(旧姓:三宅)

ご返事が遅くなりましてすみませんでした。よろしくお願い致します。

第8回生 今野ひさ子(旧姓:柏)

”石中会だより”大変良かったです。出席出来ず残念ですし、申し訳なく存じます。今後よろしくお願い致します。

第8回生 佐藤恭子(旧姓:高須賀)

いつもお招きのご案内有難うございます。遠いので失礼ですがご盛会をお祈り申し上げます。

第8回生 山手てい子(旧姓:井上)

石中会だより楽しく拝見させていただいております。欠席ごめんなさい。

第9回生 飯田勝紀

体調不良につき参加できません。盛会を祈ります。

第9回生 青山さわ

母の介護の為に外出できない状況が続いております。役員の皆様、ご苦労様です。ご活躍を!!

第9回生 鹿野文二郎

地元町内の一泊旅行と重なり参加、出席出来ません。盛会をお祝します。

第9回生 滝川喜久子(旧姓:三浦)

伊藤幸子さんと一緒に出席いたします。しめきり日を忘れてしまい申し訳ございません!!

第10回生 緒方正子(旧姓:佐藤)

今回も出席が叶いませんが、会報をたのしみに見せていただいております。

第10回生 矢澤節子(旧姓:常葉)

主人が現在入院中で、出席出来ず残念です。

第11回生 渡邊みよ(旧姓:阿部)

御盛会をお祈り申し上げます。

第11回生 高橋和子(旧姓:澁谷)

何かと忙しい日々を送っております。今回も出席出来なくて残念です。

第12回生 今井あつ子(旧姓:大森)

東京石中会だよりをなつかしく拝見致しています。

第12回生 岡崎國男

ご盛会をお祈り致します。

第12回生 村上秀一

体調不良の為

第12回生 諏佐良子(旧姓:千葉)

毎日、元気に過ごしております。

第12回生 南里憲三

ご無沙汰いたしております。この6/12でも膜下出血で倒れて7日目に入りますが以来自宅療養をしながら元気に頑張っております。どうぞ皆様によろしくお伝え下さいますように!

第13回生 佐々木次臣

平素よりお世話様です。

当日より仙台～石巻へ外出の為欠席いたします。皆様のご活躍とご健勝を御祈念申し上げます。

第13回生 赤塚誠哉

昨年9月、一日だけ石巻に行きましたが石巻の現状よく知りたいです。

第13回生 藤村綾美(旧姓:北角)

お世話様です。先日主人が亡くなり忙しくしております。すみません。

第13回生 志白清子(旧姓:庵原)

御連絡ありがとうございます。主人が2月体調悪く入院、現在自宅療養、長時間留守できないのでごめんなさい。皆様に宜しく。

私は、元気で、週二回、1～2時間30人位太極拳の指導をしています。

第14回生 高橋巳喜男

幹事の皆様、ご苦労様です。

第15回生 槍佐秀美(旧姓:林)

お世話様です。予定があり欠席になります盛会をお祈り致します

第15回生 片山洋子(旧姓:平塚)

主人が70日間の入院の後5月12日に亡くなりましたので欠席させていただきます。故郷石巻の事は常に気にかけています。石中会の御発展を祈ってます。

第16回生 内田節子(旧姓:渡辺)

昨日届きました。今回は母のホーム探して参加できませんが、弟がいつもお世話になっております。

第16回生 坂口いく子(旧姓:高橋)
遅くなりました。すみません。

第16回生 葉 良枝(旧姓:菊地)
幹事役有難うございます。日々、元気で過ごしています。

第16回生 渡辺啓子(旧姓:千葉)
夫の体調がすぐれないため今回は欠席します。

第16回生 小山慶孝
同窓の皆様、ご健勝を祈願致します。

第17回生 今野雅隆
5月20日、石巻グランドホテルで昭和39年度卒業生の同期会があり、参加しました。参加者は百名以上(私達はベビーブームの世代で10クラス・540名以上の卒業生でした。)でしたが校歌をうたいたいにもりありがとうございました。申し訳ありませんが、今回は先約があり参加できません。またよろしく願い致します。

第18回生 鈴木清勝・裕子(旧姓:橋本)
たのしみにしています。よろしくね。

第18回生 北川知代子(旧姓:亀山)
5月末より体調不良で御連絡が遅くなりました。

第18回生 井桁美紀子(旧姓:柴田)
役員の方お世話になります。

第18回生 西田美知子(旧姓:鈴木)
今年も出席できることがたく楽しみにしています。

第18回生 渡辺総一
いつもご苦勞様です。楽しい会になりますように祈っています。

第18回生 吉田るり子(旧姓:高田)
いつも欠席申し訳ございません。
基本土曜日は時間とりにくくなっています。

第18回生 志村明子(旧姓:千葉)
今年は姪の結婚式が有り行けません。残念!皆様によろしく。

第18回生 相澤考男
宮城に戻り3年経ちました。世の流れにずれまいと月に3~4回石巻訪問(介護の為)、当分は続きそうです。皆様のご多幸を祈念しております。

第18回生 小野恵久子(旧姓:千葉)
ご案内ありがとうございます。あいにく他の用事と重なっています。残念ですが皆様によるしくお伝えください。

第18回生 佐々木典雄
所用あり欠席します。今年年会費納付します。

第18回生 小笠原けい子(旧姓:若井)
出欠の返事、遅くなってごめんなさい。
元気にしています。

第18回生 水澤純一
会長お役目お疲れ様です。折角のお誘いですが、参加できず、申し訳ございません。
そろそろ暑さが厳しくなりつつあります。
どうぞご自愛下さい。

第18回生 渡邊洋
当日は法事有り。

第19回生 星武雄
お手数お掛しております。
当日が今から大変楽しみにしております。

第20回生 中村直子(旧姓:高田)
幹事お役ありがとうございます。いつか出席したいと思っています。毎年成田の祭り(7月2週目・金土日)と同日なので出席できず残念です。いつか出席したいです。

第21回生 高橋郁夫
出張しておりまして返信を失念していました。
皆様によろしくお伝え下さい。

第25回生 尾口英昭
広告掲載をありがとうございました。
仕事の都合で残念ですが、出席できません。
また連絡をさせていただきます。

第25回生 星野祐一
ご苦勞様です。盛会をご祈願いたします。

第26回生 大久保多賀子(旧姓:畠山)
今年ついに還暦!!5月20日には松島で同級生15名が集まり歓談しました。私自身は大型バイクで日本中を走っています。夏にヨーロッパツーリング、アルプスの峠を走ります。

第27回生 飯塚光輝(旧姓:二瓶)
ご苦勞様です。楽しみです

第29回生 阿部了子
初めてお世話になります。よろしく願い申し上げます。

第31回生 酒井義孝
いつもお苦勞様です。今年も盛会になるよう祈っております。

第32回生 鈴木わか子(旧姓:高橋)
ありがとうございます。お世話になります。

第36回生 松村紀代(旧姓:藤井)
幹事の皆様、いつも楽しい会をありがとうございます。今回は残念ですが、都合がつかず、欠席いたします。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

第42回生 渡邊 公威
遅くなり申し訳ございません。転居により、連絡先(メールアドレスも含め)変更致しました。どうぞよろしく願い致します。
皆様にお目に掛かれまますのを楽しみに致しております。

(順不同 敬称略)

訃報

4回生 阿部 剛夫 様
4回生 菊池 桂子 様
6回生 藤澤 俊 様
15回生 小林 茂樹 様
31回生 小野寺 康之 様

「事務局副局長 小野寺康之君(31回生)を偲ぶ」
東京石中会副事務局長の小野寺康之君が平成29年9月14日午後2時10分永眠しました。
石中31回生で、行年55歳でした。まだまだ活躍を期待されていましたが本当に残念です。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

31回生一同

「初代事務局長阿部剛夫さん(4回生)を偲ぶ」
前東京石中会 会長 飯田勝紀(9回生)
初代事務局長の阿部剛夫さんが平成28年5月14日、黄泉の国に旅立たれました。
心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。
阿部さんは東京石中会創設メンバーのお一人で、設立当初から5年間事務局長として会の企画・運営に活躍されました。今日ある東京石中会の基盤を築かれた最大の功労者でした。人柄も誠実にして控えめで優しく、総会出席者には親しく話しかけ和みを醸し出すお兄さんのような方でした。
享年80歳、安らかな旅立ちをお祈り申し上げます。

年会費の納入、ありがとうございました。

●平成 29 度・東京石中会・年会費払込者名簿

[3 回生] 阿部 剛・大木郁子・青沼義信・武山 勝・後藤久男・水澤 昇・結城常明・坂本武久 [4 回生] 大西葉子・金野 和夫 [5 回生] 松本悦子・上原藤三・渡邊寛治・阿部道子・徳江明・鈴木恵美子・早川幸子・猪俣昌子・佐藤仁子 [6 回生] 長崎紀久子・細川金子 [7 回生] 伊藤恵子・金澤 功・境一成・廣瀬知子・田上富美子・宮川岩夫・橋本洋二・北川喜恵子・芦原尚 [8 回生] 首藤光春・今野ひさ子・山手てい子・西井陽子・樽見和子・畠山尚・川島あつ子・瀧美淳・佐藤藤子・松田勝治・市川洋子・塩谷洋子・高嶋辰廣・梅沢治子・安田圭吾 [9 回生] 野崎ナホ子・田中龍子・後藤 安男・早田 光・菊池正・青山さわ・梓田洋子・高橋洋治・伊藤幸子 [10 回生] 角田守弘・中里成男・緒方正子・大高朋子・田代勝彦・川野澄子・斎藤宣子・高泉正勝・勝又勝・館克憲・柏倉典子 [11 回生] 池永貴美子・渡邊みよ・高橋和子・雫石登志子・栗原光男 [12 回生] 西條 修・金澤由紀子・金澤 洋・蟹澤詔子・佐藤正克・今井あい子・村上秀一・安田淳子・吉田義男・諏佐良子・夏目都善子・岡崎國男・後藤利男・南里恵三 [13 回生] 佐々木次臣・須田正毅・岡田ちづ子・赤塚誠哉・植草良子・志白清子・八重樫典雄・藤村綾美・勝島節子・竹内政子 [14 回生] 山中圭子・梅沢 智・細川忠勝 [15 回生] 山形昌子・今野和子・小林茂樹・佐々木玲子・阿部博子・星澤晋・西條紀郎・金子和子・片山洋子・阿部克子 [16 回生] 葉 良枝・坂口いく子・金澤 哲・園田美智子・熊谷徹・佐藤政彦・森岡芳朗・岡 康博・渡辺啓子・鈴木楨子・吉田義弘・星澤正孝・大久保和夫・小山慶孝・内田節子・佐々木光子 [17 回生] 熊谷道夫・佐藤真木男・今野雅隆・岩崎宏幸 [18 回生] 小野恵久子・田村 隆・本橋富久子・鈴木清勝・小笠原けい子・西田美知子・山崎容子・加藤友成・吉田のり子・相澤貞止・高梨誠・志村明子・中西園子・岩淵明・井術美紀子・岩崎久仁夫・水澤純一・寒風澤啓子・河口登喜子・山口広治・渡辺総一・高橋誠・渡辺洋・北川知代子・駒場純子・佐々木典雄・高橋郁夫・出雲雅明・相澤孝男 [19 回生] 杉山茂・星武雄 [20 回生] 茂泉吉則・佐々木千代子・渡辺節子・中村直子 [23 回生] 岡田文彦 [24 回生] 原田康弘 [25 回生] 師岡千英子・西崎恵子・尾口英昭・土井敏彦・佐々木耕志 [26 回生] 高橋裕子・高橋周泰・齊藤恵子・大久保多賀子 [27 回生] 阿部滋・飯塚光輝 [29 回生] 阿部 泰・阿部了子 [31 回生] 島貫裕之・綱島祐子・岡崎一也・吉原麗子・酒井義孝 [32 回生] 鈴木わか子・井上俊次 [36 回生] 浅野 剛・松村紀代 [40 回生] 成家新一・石村公仁彦 [41 回生] 佐藤理樹 / 久保田ひろ子

●寄付者

[3 回生] 阿部剛・大木郁子 [5 回生] 鈴木恵美子・早川幸子 [6 回生] 細川金子 [8 回生] 首藤光春・樽見和子・川島あつ子 [18 回生] 吉田のり子 [31 回生] 木村美保子 [41 回生] 佐藤理樹
石巻中学校・石巻中学校同窓会群鶴会・東京住中会・石商同窓会関東支部・門脇中学校同窓会関東支部・東京湊中会・大島幹雄 (以上順不動・敬省略)

お振り込みに際してお願い

窓口を通してお振り込みされますと、手数料が 130 円徴収されます。振り込み用の機械 (ATM) で振り込まれますと、手数料は 80 円となります。できるだけ、振り込み用の機械 (ATM) でお振り込みされますよう、お願いいたします。
(平成 29 年度会計報告は今年 7 月総会にて行います。)

東京・石中会への寄付

東京・石中会も今年で 14 周年となりました。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記事務局長宛にお送りくださいますようお願いいたします。
相澤 貞止

〒154-0024 世田谷区三軒茶屋 2-56-7-906

事務局 だより

本年は、東京石中会設立 15 周年を迎えました。これを記念して本年度の広報誌「友よ」は「15 周年記念拡大特集号」と銘打ち通常より 4 ページ増しの 20 ページの拡大版とし、「15 周年回顧と未来」という題で特集を設けました。また、本年は東日本大震災から 7 年が経ち、新聞・テレビ等で特別番組が組まれましたが、東京石中会が震災からの復興を祈願して応援している「和光 3.11 を忘れない実行委員会」主催の「第 6 回 みんなでつながろう 和光 チャリティイベント&コンサート」も 3 月 9 日から 13 日まで和光市で開催されました。その間 1 日には「石巻市民交響楽団・石巻合唱連盟」の有志が和光市を訪れ、熱心な聴衆を前に「カンタータ 大いなる故郷石巻」を演奏及び合唱し、大喝采を浴びました。更に、青池憲司監督がボランティアから寄付を募り製作していた記録映画「まだ見ぬまちへ」が完成し、一般公開にこぎ着けました。
一年が経つのが極めて早いと感じる毎日ですが、本年も「東京石中会の集い」において皆様に故郷を偲びつつ楽しんで頂けることを祈念すると共に、今後共東京石中会へのご支援、ご鞭撻を御願ひ致します。
最後に、長い間に渡り東京石中会の役員をして石中会に貢献して頂いた小野寺康之さんが若齢にも関わらずご病気のために急逝致しました。今までのご協力ご厚情に深く感謝致しますと共に、ご冥福をお祈り致します。

事務局長 相澤 貞止

編集・広報 委員長 浅野 剛

委員 首藤 光 春

第 15 回

東京・石中会の集い 7 月 14 日 (土)

開場 11:30
開宴 12:00

銀座 Sun-mi 7 丁目店 (高松) 東京都中央区銀座 7 丁目 13-20

TEL 03-3546-8182

お申し込みは、はがき又は下記 URL から承っております。

<http://tokyosekichukai.com/tsudo-annai/>

広報誌「友よ」発行部数：1700 部、主な配布先 (予定)：東京石中会会員、石巻中学校、石巻市、石巻市図書館、等